

令和2年 長崎市議会 6月議会 一般質問

令和2年6月16日(火)10時～11時

市民クラブ 梅原 和喜



質問項目一覧

1. 教育行政について	(1)学校再開後の教育活動 (2)大会中止における子どもへのサポート体制
2. 観光行政について	(1)新型コロナウイルス感染症収束後の観光客誘致の方針 (2)クルーズ客船の感染症水際対策
3. 職員力について	(1)新型コロナウイルス感染症対策業務の総括 (2)再任用職員の適正配置
4. 防災行政について	(1)3密を避けた避難所運営計画 (2)緊急時の防災行政無線の活用
5. 道路行政について	(1)南部地区の幹線道路整備状況

質疑の要旨

1. 教育行政について

(1) 学校再開後の教育活動

<質問>

コロナ感染拡大防止の対策として実施した学校休校中の学習は、夏休みを利用して補うことになっているが、遅れた学習内容はカバー出来るのか。

<回答>

各学校からの報告では、不足する時数は1学校当たり平均で、小学校15.3時間、中学校17.4時間となっており、約3日分の授業日数が不足している事になる。

学習内容については、小6、中3はほぼ終了しており、他の学年においては、臨時休業中に課題プリントを課すなどの対応で一定の解消ができています。

4月16日に緊急事態宣言後は9日間の授業ができない期間が生じた。

不足分については、夏休み中の一斉の授業日を7日間の午前中に設定したカリキュラムの進捗状況は、学校や学年、教科によって多少の差があることから、各校が実態に応じて授業日を設定できる期間を設定するなどから、学習の遅れは取り戻せると判断している。

(2) 大会中止における子どもたちへのサポート体制

<質問>

「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から、スポーツ、文化活動の全国大会が中止となっている。大会や発表会が中止になった子どもたちの心のケアについての支援はどうか。

<回答>

全国、九州、県などにおける各種競技大会やコンクールが中止となっている。

長崎市中学校総合体育大会は7月下旬に計画しており、感染症対策を講じた上で実施する方向である。子どもたちへはきめ細やかに学習指導や進路指導、生活指導などを行い、新しい目標を設定する事や次の目標に向かって努力する姿勢を育む事で心のケア、サポートを行っていく。

2. 観光行政について

(1) 新型コロナウイルス感染症収束後の観光客誘致の方針

<質問>

市内の観光施設が再開しているが、以前の賑わいを取り戻すには長い時間を要すると思う。観光産業の実態を把握し、観光の回復にどのような手段を講じていくのか。

<回答>

観光関連事業者との意見交換会を行い、民間事業の把握を行った。

観光再生を果たすために、第一弾から第4弾までの経済対策を組み立てている。

今後の観光振興については、新しい生活様式を受け入れながら、長崎観光の安心安全に関する情報の発信を官民一体となって積極的に行い、多くの方々に来崎していただく観光地づくりを目指していく。

(2)クルーズ客船の感染症水際対策

<質問>

今後のクルーズ客船の受け入れの際には乗員乗客の衛生管理対策と市民への安心感の提供は欠かせない。水際対策の取り組みについてを聞きたい。

<回答>

クルーズ船内で感染症が発生した場合の国際的ルールが確立していないので、クルーズ船籍の国、船会社、入港する国における責任分野を明確にするなど、国際的な対応の在り方について調査を行う。

クルーズ客船の受入は重要な取り組みで有るので関係先と連携を一層強化し、市民の皆様が安心して、クルーズ客船を歓迎する環境づくりを積極的に推進していく。

3. 職員力について

(1) 新型コロナウイルス感染症対策業務の総括

<質問>

感染症対策のための国、地方自治体から支援給付などの予算執行が実施されている。今回の支援業務を通しての総括についての考え方は。

<回答>

今回の業務のそれぞれの段階ごとの対応について検証し、今回の感染症対策時に策定した業務継続計画も改めて精査する。ワクチンや治療薬が開発、実用化され専門家による収束の判断が出たときは、その時点で更に検証を行い今後の感染症対策における行政運営、組織運営の総括を行う。

(2) 再任用職員の適正配置

<質問>

職員力の向上のためには、経験ある再任用職員の活躍や、後輩への経験の継承が大切である。再任用職員の数は何人か。職員ごとにそれぞれ得意分野があると思うが、配置の際はどのように反映しているのか。

<回答>

職員数は令和2年4月1日時点で287名。再任用配置においては、定年退職後の職員の能力・経験の活用が期待される所属を選定すると共に、職員の配置にあたっては、

従前の勤務実績に加え、本人の希望等も勘案した上で配置している。
再任用職員の希望と配属先が一致し、経験を活かしてその継承が図れる様に引き続き適材適所の配置に努めていく。

4. 防災行政について

(1) 3密を避けた避難所運営計画

<質問>

新型コロナウイルス感染を防ぐため、本市の避難所の3密を避けるための具体的取り組みは。

<回答>

本市では指定避難所として265箇所のうち、約80箇所を開設している。3密を回避すると共に、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなど、新しい生活様式を取り入れた感染防止対策に努めることとしている。具体的には定期的な換気で「密閉」を避け、同一施設内の会議室を利用することで「密集」を避けると共に、避難スペースの床に目印をつけることで避難所の身体的距離を確保し、「密接」を避けることにしている。

場合によっては、学校の教室を活用することで収容人員増につなげる。

又、市旅館ホテル連合会と2015年に締結した協定に基づき、市内宿泊施設を避難先として活用する事についても調整していく。

(3) 緊急時の防災行政無線の活用

<質問>

新型コロナウイルスの感染を防ぐための放送が行われているが、住民から緊急時に緊迫感が伝わらないとの意見がある。対策は講じているのか。

<回答>

デジタル方式の防災行政無線はアナログ方式の防災行政無線で行っていた肉声による一斉放送ができないシステムになっている。避難勧告や避難指示などの緊急放送を行う際は緊急性や緊急性を強調するために、放送前のチャイムや有事サイレンに変えて放送することから、緊迫感を伝達することを計画している。

5. 道路行政について

(1) 南部地区の感染道路整備状況

<質問>

長崎外環状線は(新戸町～江川町)、40年以上前に都市計画決定され、長年未着手となっていたが、平成28年度には新規事業化され、江川町地区において工事着手のお知らせを行うことになった。今後のスケジュールは。

<回答>

新戸町～江川町の区間については、新戸町インターチェンジ付近においては、平成30年度から工事着手を実施している。令和2年度には11億3,300万円が確保された。今後は新戸町側、江川町で法面工事が継続される。令和12年度完成目標として、鋭意事業が進められる予定である。